

教育方法14 子どもの人間的自立と授業実践

第一部

子どもの人間的自立と教育実践の今日的課題

I

子どもの人間的自立と教育実践・研究の課題

一

授業における発達の理念として

中村 亨

二

発達における個と集団の弁証法的把握について

石川 正和

三

「現代」的課題への挑戦

中野 光

II

学級教授の統一と文化

一

一斉授業の改革と明治期発問観

豊田 久亀

二

「成長観」の吟味と「授業」の改革

加藤 幸次

三

到達度評価と授業の個別化 一 形成的評価の任務と機能一

稲葉 宏雄

III

カリキュラム編成における「合科」と「総合」の検討

一

「合科」「総合」をめぐる実践的理論的動向

清水 毅四郎

二

合科的学習の分析と考察

水越 敏行

三

<この子>の本然の問いを追求しぬかせる 合科・総合学習

長岡 文雄

四

西ドイツの「事物科」における「総合」の問題

小野 拓男

IV

授業研究の方法論的基礎

一

一 今日における授業研究の目標・内容・方法とは何か一

二

授業研究の現状と課題

山下 政俊

三

授業研究における理論の有効性とは何か

藤岡 信勝

四

授業研究の目的 一 社会科教育学の立場から一

森分 孝治

五

教師教育における「授業の観察・設計・展開の三段階モデルによる授

八田 昭平

六

業能力育成プログラム」

第二部

日本教育方法学会第二十回大会成果から

I

シンポジウム 教師教育のための教育内容・方法の検討

II

課題研究

III

自由研究